

日精会たより

古河日光退職者の会
日精会
発行責任者 薄井和彦
編集責任者 石川警一

華やかに 記念祭を踊る

小林社長のお出まし!! 停年者ご招待会にて

8月4日(金)19時より、第113回記念祭・和楽踊が
行われた。これに先立ち、恒例の「停年者」ご招待
会」が開催されて約90名が出席し歓談、くつろいだ。
その冒頭、加藤日光事業所長よりサプライズが
告げられ、小林敬一古河電工社長が入場。ご挨拶を
いただき、文字どおり驚きと華やかな一時となった。



小林社長
準備が始まると、出店の人たちの

日精会は、例年通り「お休み処」
を設営するため本部役員と企画部
員が午前11時、日光事業所に集合。

古河電工社歌

作詞 阿部定雄
補作 勝承夫

一、源遠き古河の
ながれは清く 大河にそそぐ
新らしき 理想をここに
たゆみなく のびゆく力
科学の精華 世に轟く
古河電工 われら讃えん

二、時代の技術に さきがけて
文化の扉 築しくひらく
日に進む 社運と共に
六千の こころは一つ
和楽の気風 美しき
古河電工 われら歌わん

三、み空に仰ぐ 七色の
虹より映えて 山越え野越え
この光 世界にかよえ
この誠 はてなくとどけ
祖国の未来 興すもの
古河電工 永遠に栄あり



加藤所長との歓談

り、資材搬入が難しくなるので、
細尾自治会に出向き、テントやイ
ス・長テーブルなどを借用し、飯
野企画部長の軽トラで構内に。即
組立て、会員来場を待つ準備完了。
昼時は構内食堂で松美屋の美味
くてボリュームのある定食を摂る。
その後、太田副会長の用意した
往年の記録写真を、食堂の壁に貼
り出す。市内電車や祭の様子が、本
年は東武のS「大樹」も登場。
企画部は工場見学会について審
議。お役目ご苦労さんと言いたい。
空いた時間で、よしお
の湯に向かう一行も。
当会員は徐々に集まり
始め、48名が記帳した。
定刻の16時30分となり、
招待会
が始まる。加藤
所長が、式次第
によるご挨拶の
ところを、右は和楽踊の菅笠



249名
10月現在
会員状況



お休み処を設営中

突如として
外へ。
何事か!
と思えば、
小林社長の
お出ましで
会場がどよ
めく。「こんなことは、初めてだ
よね」の声が周囲に広がる。
小林社長、加藤所長、松田洋U
ACJ日光製造所長の「挨拶があつ
て、乾杯の後、歓談となる。
社長が当地で勤務された当時の
部下だった人もいて、開場は大い
に盛り上がる。さらに日精会の肝
煎りで、一同「社歌」を斉唱する
という特別な日となった。ほぼ18
時、日光締めでお開きに。

和楽踊は往年に比べて短い時間
とはなっているが、お囃子が始ま
れば、やはり気持ちが高まるのは
いつものこと。それに、雨に見舞
われず、なによりではあった。

いまいま部活

10月11日(水)9:30開始
大谷川グリーンパーク
かわせみ・かたくり両コース
4ゲーム・参加費5000円30名
秋晴れが曇りに。でも、
さわやか気分の皆さんは、
張り切ってコースに臨ん
だ。後は悲喜ごもごも。スコアメ
イクに苦勞する人もあれば、ホイ

衆院選 10月10日公示・22日投開票

9/28(金)に衆院は解散され、いよいよ総選挙となりました。なお、日精会は前回同様「福田あきお候補」を支援します。ご協力のほどを。

ご案内 (詳細別途)

日精会の忘年会は
下記のとおりです。どうぞ、
お楽しみに!
日程：12月3日(日)
～4日(月)
場所：和楽遊園・那須塩原
会費：8,000円



ホイと少ない打数で上がる人。で
も、つぎの展開は逆の形! 芝目
と起伏の変化、打球の強弱など、
条件は、なんとも悩ましい限りだ。
それでも、わいわいがやがや、
いっしょにプレイ出来るのが、幸
せの素なのを、互いに感じている。

順	氏名	スパ	1打	2打	氏名	スパ	1打	2打
1	田中 貞夫	74	2	14	齊藤 徳江	87	2	7
2	増淵 秋夫	76	1	16	八木沢 京子	88	0	12
3	岩本 文夫	78	1	15	根岸 ミヨ子	99	0	9
4	八木沢 茂	81	0	17	岩本 京子	100	1	9
5	矢部 昌一	83	1	11	柳田 本子	100	1	5
6	渡邊 隆	84	0	14	加藤 静江	102	0	6
7	薄井 和彦	85	2	10	大谷 昌子	104	0	4
8	児玉 進	85	0	15	月井 美智子	111	0	1
9	鷹嘴 仁	85	0	13	田中 千枝子	112	0	4
10	上沢 良男	86	1	9				

- ### 本部の動向
- ◎ 福田あきお総決起大会 10/6(金) 19:00、今市文化会館 若干名
 - ◎ 栃退連 第3回拡大幹事会 7/24(月) 13:30、
ニューみくら(宇都宮) 篠原
 - ◎ 行事企画部会 第3回 8/4(金) at 古河日光事業所
 - ◎ 飯野・矢部・児玉・鈴木・大出・長尾・吉原・中村
 - ◎ 役員会議 8/18(金)、9/27(水)、10/27(金)
 - ◎ 栃退連 一泊幹事会 9/21(金) 那須 篠原
 - ◎ 衆院選拡大日光地区選対会議 9/25(月) 19:00、
報徳一宮神社会館 日野・篠原・登坂・村上・中村・石川

わらくいけ

ついに安倍政権の終焉
を見られるのであろうか。
弱小の野党、別けても第
一党の民進党が混乱する
のを見透かすように安倍
首相は、いきなり衆院解
散をした◆◆◆と事態は
想定外の進展を見せる。小池東京
都知事が新党「希望の党」を立ち
上げ、民進党前原党首は、その新
党から自党の大半を立候補させる
と宣言。いわば自民vs希望の対決
が鮮明に。と思いきや、小池氏は
都政を全うする関係上、立候補な
ど思いもよらず◆◆◆しかも同氏は、
民進党所属の議員を査定する始末。
対して枝野氏を党首とする立憲民
主党が立党。国民は混乱の極みに。
一方の首相は憲法改正や消費税増
税を言い、五年間のアベノミクス
の実績を豪語するが、国民のため
には一切なっていない◆◆◆森友・加
計両問題は、ていねいに説明する
と言いつつ、ついに聞かれない
まじだ。野党の追及にも口クソッ
ポ応えていない。国民を愚弄する
以外のなにものでもあるまい。国
会審議をながしにして総選挙
をする傲慢さが際立つ◆◆◆高齢者・
障害者・女性・働く若者・待機児
童等々へ、救いの手を差し伸べて
いない選挙公約は、いつもながら
に絵に描いた餅。北朝鮮問題だけ
が問題ではない。ここまでは10/
15までのこと。これをお届けする
ころは大勢が決まっているはずだ
が、気のもめることだ(S・I)

《将棋部》

9月2日(土) 9:30集合
 日光福祉保健センター
 参加費1000円
 以下は、リーグ戦に臨むメンバーの声(略敬称)

◇渡辺治夫:いつも、この集まりが楽しみ。
 ◇大出文夫:もう少し参加者が増えてにぎやかになれば…。なかなかアイデアを考えないよね。
 ◇斎藤務:楽しみが年三回に増えて良かった。
 ◇田野辺修身:集中してやるからボケ防止になるし、



順位	氏名	勝	敗
1	斎藤 務	8	0
2	大出 文夫	6	2
3	渡辺 治夫	4	4
4	福田 辰美	4	4
5	薄井 和彦	4	4
6	櫻井 藤七	3	5
7	田野辺 修身	3	5
8	斎藤 義雄	2	6
9	堀田 清之	2	6

戦績は表のとおり。同率の場合左後方には、尊徳翁の像がデントと坐してやる。

あの人(〇〇)の人

滔々と三百年以上も続く家柄

今回は驚くべき来歴を背負うお方へのインタビュー。日光社参に関わる武家七百年の名簿が現存し、神尾氏二名が載る。縁者!?



つぎつぎ素顔紹介 ⑬
 上尾直行さん(細尾)

天保14年(1843年)とあり、これは徳川12代家慶の時、將軍家最後の社参となる。(編集者注)元は神尾姓。江戸時代半ばごろ現姓に。位牌後部の戒名受けにある古い小板は三百年前(享保6年・1722年)。宇都宮より移住。野田肥前守藤原吉政の銘入り青銅製の手鏡は、贈られたのか授かり物かは不明。神橋以西(含む明智平)の山を家康公から賜ったと伝わるから四百年かな。山は約40軒別と村の共有林に分けられ、後者は

生きがいのなっている。堀田清之:楽しみだね。斎藤義雄:他に楽しみがないし、ボケ防止に、ちょうどいい。福田辰美:常に楽しみにして、この日を待っている。櫻井藤七:楽しみにしてるよ。薄井和彦:小学生の時、精銅所将棋会の小父ちゃんから教わったのが始まり。後に、自分も含め、ここに居る人はほとんどが会員だった。当時は昼休みに囲碁や将棋が盛んだった。懐かしい。戦績は表のとおり。同率の場合左後方には、尊徳翁の像がデントと坐してやる。

は規定により年齢で決定。なお、ブービー賞は斎藤義雄さんに。《女性部》9月17日(日)10:00、日光市歴史民俗資料館・二宮尊徳記念館 参加費500円 8名参加 台風18号が近づくと心配もなんのその、当初の12名よりは減ったが、今年4月オープンの際に集めた歴史に関心ある面々。当館の齋藤学芸員が説明する尊徳翁の事績について、熱心に聞き入り、また、展示物を目に焼き付けていた。写真は前庭で、お澄ましの瞬間。



アンケート結果 工場見学会について

① 福井工場なら参加	14	票
② 三重工場なら参加	3	票
③ 福井・三重どちらも可	16	票
④ 福井工場 ①+③	30	票
⑤ 三重工場 ②+③	19	票
⑥ 県内他企業なら参加	21	票
⑦ いずれにも参加しない	11	票

これより、福井工場に決定。

同館は一階が尊徳記念館、一階が民俗資料館および市民活動支援センターの三つの機能を果たす。ここは江戸時代の今市報徳役所跡であり、翁の終焉の地でもある。当時の石倉風の書庫が唯一残る。翁の墓は、近くの如来寺に隣接する報徳二宮神社の裏手にある。

精銅所(現古河日光)に粗銅を運ぶ索道用の、地上権を設定する契約書には、古河市兵衛翁と当主上尾熊次郎双方の署名捺印がある。大正4年5月、東照宮三百年祭支援に対して、時の宮司阿知和安彦ならびに奉齋會會長濫澤榮一連名の招待状が届いている。大正7年、奥細尾のバス発着場近くの遠上さんと親しまれた元屋敷は、三日も居座る台風で裏山が崩れたため現在地へ移転。泉の新庁舎ロビーに展示されているミニメント「時を漕ぐ舟(約11m・4トン)」(写真)は、私の持ち山から運ばれた柵の木が素材で、推定樹齢は三五〇年の巨木。

私は昭和22年2月生まれ。清滝小を経て日光中卒業後、古河アルミ(現UACJ)日光工場に養年工として採用される。福井工場は同58年1月の立上げから関与。バブル崩壊時に古河労組福井支部委員長就任。減産・シフト余り・経営諸施策提示など労使の狭間で苦慮したが、記念誌「労組10年のあゆみ」を発行出来たし、多くの人たちとの出会いもあり貴重な経験であった。因みに、祖父は日光発電所、父は抽伸のダイス屋ということで電工関係3代目。結婚は48年(家内は元システム課)、子女二人。古河日光スキー部で、菊池さんをはじめ先輩たちとの湯元温泉合宿が思い出。お蔭で福井では、先生としてモテた。それと、若いころはアイスホッケー、今はゴルフ。カメラは凝ったね。いくつかは残っている。



『時を漕ぐ舟』

わいわい和話輪のコーナー 第13回

ドラッグの粘土アート 岩本文夫さん(安良沢)



65過ぎ、朝日新聞柵木欄で、明神の人の作品を見て、自分もと始めた由。ドラッグと紙粘土を用い、実に精巧なお造り!



組体操(実物の約1/4)

豆まき・ひな祭り・八百屋・スイカ割り・そば打ち・餅つき・屋台ラーメンの他、眼を瞞るほどのレパートリー。



パン工房(実物の約1/2)

福井工場見学会、中止に
 アンケート結果(上表)に見るとあり、④項の福井工場希望が30票

でも、当初にバス代のみの提示で、宿泊代が含まれなかった関係もあってか、結果的に数名に減ってしまい、やむなく中止となった。行事企画部の次案が待たれる。《会として、待ち望んだ方々に、心より陳謝いたします。》

新入会員紹介

- ☆8月入会 なし
- ☆9月入会 なし
- ☆芳賀貴治さん(清滝):歩こうかい
- ☆10月入会 なし

ご逝去
 お祈り申し上げます
 8月5日 山本 誠さん 87歳 (細尾)